

日本学生支援機構貸与奨学金および給付奨学金 (高等教育の修学支援新制度) 手続きについて

大学入学後に申し込みを希望する方 (在学採用者)

【資料配布期間】 4月6日(月)～5月15日(金) 9:00～17:00
※土日休み

【資料配布場所】 日本学生支援機構奨学金窓口 (不言実行館4階)

※学生本人が学生証持参の上、資料を取りに来てください。資料を受け取りに来ないと申し込みできません。

高等教育の修学支援新制度 (給付奨学金・授業料等減免・多子世帯) の概要

この制度は授業料・入学金の減免と、返還不要の給付奨学金の2つの支援内容から成り立っています。世帯収入の基準を満たす(支援区分により金額は異なる)学生が対象となります。支援を受けるためには成績だけでなく「学ぶ意欲」も重視されます。なお、理工農系の学生に対し中間層まで支援対象となるよう制度が拡充されています。また、多子世帯の学生に対し所得制限なく授業料、入学金を国が定める一定額まで無償化(減額支援額: 授業料70万・入学金26万)するように制度が拡充されています。対象者は必ず給付奨学金の申込をしてください。

※春は2年前の12月31日時点での扶養状況、秋は1年前の12月31日時点での扶養状況で多子世帯かどうかが判定されます。

		<日本学生支援機構 給付奨学金>		<授業料等減免>※1	
支援区分※2		自宅通学 (月額)	自宅外通学 (月額)	授業料減免 (年額)	入学金減免(2026年 入学者のみ1回限り)
第Ⅰ区分		38,300円	75,800円	満額減免	満額減免
第Ⅱ区分		25,600円	50,600円	2/3減免※3	2/3減免※3
第Ⅲ区分		12,800円	25,300円	1/3減免※3	1/3減免※3
第Ⅳ区分	多子世帯	9,600円	19,000円	満額減免	満額減免
	理工農系※4	0円	0円	1/3減免	1/3減免
区分外	多子世帯	0円	0円	満額減免	満額減免

※1 授業料等減免については、在学で前学期に授業料等減免に採用されている場合(当学期に認定外となる事が明白な場合等は不可)、授業料は減免額を差し引いた金額を納付。入学時及び新規申込者は支援区分決定後還付。

※2 世帯の収入・所得金額に基づく区分・通学形態により月額が定まります。

※3 多子世帯の学生は区分にかかわらず授業料減免・入学金減免は満額支援となります。

※4 理工農系は工学部・応用生物学部・理工学部のみ。多子世帯・理工農系の両方に該当する場合は多子世帯支援が適用されます。

貸与奨学金の概要

卒業してから返還の必要がある奨学金です。選考には学業成績と家計の基準があります。

種類	金額 (月額)
第一種 (無利子)	自宅通学 2万、3万、4万、5万4千円の中から選択 自宅外通学 2万、3万、4万、5万、6万4千円の中から選択 ※採用結果によっては最高月額(自宅5万4千円、自宅外6万4千円)を選択できない場合があります。 ※給付奨学生は支援区分に応じて併給調整され、減額となり0円となる場合もあります。
	第二種 (有利子)

これから奨学金の申し込みをする方のスケジュール

●資料受け取り後、提出締切日までに申請書類一式を学生支援課日本学生支援機構奨学金窓口へ提出

●採用された場合の初回振込は7月以降です(不採用の場合もあります)

※本制度の詳細につきましては、[文部科学省](#)、[日本学生支援機構奨学金のホームページ](#)でご確認ください。